

道徳科学習指導案

平成30年11月27日(火) 第3校時(2の1教室) 2年1組 指導者

I 主 題 はたらくよろこび

II 考 察

1 主題観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

進んでみんなのために働くことのよさについての理解

②思考力・判断力・表現力等

進んでみんなのために働くことについての自己の考え

③学びに向かう力・人間性等

進んでみんなのために働こうとする意欲と態度

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

C 主として集団や社会との関わりに関すること

14 勤労，公共の精神〔第1学年及び第2学年〕

働くことのよさを知り，みんなのために働くこと。

(3) 主題や教材の価値

本主題は「勤労，公共の精神」の内容項目のうち，進んでみんなのために働くことのよさについて考える学習である。本主題の価値は以下のとおりである。

集団生活において，働くことは，自身の生活を維持したり向上させたり，自分や他者が気持ちよく生活を送ったり，集団をより豊かなものへと発展させたりするなどの点から重要である。進んで働くためには，一人一人が働くことのよさに気付くことが大切となる。なぜなら，進んでみんなのために働くことには，自分やみんなが気持ちよく生活できるようになったり，みんなの役に立つことができたという喜びや充実感を味わうことができるというよさがあり，このようなよさに気付くことが，一人一人のみんなのために働こうとする意欲を高め，実践しようとする態度を養うことにつながるからである。

子どもたちは，授業でみんなが使った道具を進んで片付けたり，汚れている箇所に気付いて教室の床をきれいに拭いたりするなど，みんなのために働こうとしている。しかし，働くことを面倒に感じたり，自分のしたいことを優先してしまったりして，自分から取り組まなかったり，人任せにしてしまったりすることもある。このような子どもたちが，進んでみんなのために働くことのよさについて考えることは，実践への意欲を高めることにつながる。

そこで，教材「きれいになつたずこうしつ」を使用する。教材の内容及び価値は次のとおりである。

図工の制作で出たゴミを片付けずに，楽しくおしゃべりを続けていた子どもたちだったが，北

村さんが1人図工室の掃除を始めたのを見て、おしゃべりを止め、掃除を始める。掃除を終え、きれいになった図工室では、先生や主人公たちの楽しそうな笑顔があふれる、という内容である。

おしゃべりを止めて図工室の掃除を始めたにもかかわらず、掃除を終えて主人公たちが楽しそうにしていることに着目することは、進んでみんなのために働くことよさについての問題意識をもつことにつながる。また、図工室の掃除をして、主人公たちが「なんだかとっても楽しそう」にしていたり、「きれいな教室。はい、どうぞ。」と言っていたりしている理由を考えることは、進んでみんなのために働くことで、自分だけでなく次に使う人が気持ちよく使うことができ、そのことが自分の喜びになることに気付くことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、3年「すすんではたらく」での、集団の一員として、みんなのためになる仕事を見つけて進んで行くことの大切さについて考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、2年「みんなのためにはたらくと」において、進んでみんなの役に立つ仕事をすることよさについて考える学習をしてきた。この学習で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 進んでみんなの役に立つ仕事をする中で、みんなが楽になるだけでなく、自分も気持ちがよいことを理解してきている。このような子どもたちが、進んでみんなのために働くことで、自分もみんなも気持ちよく生活できるようになり、そのことが自分の喜びになることを理解できるように、図工室がきれいになって主人公たちが楽しそうにしている理由を問う学習課題を設定する。
- ② 進んでみんなの役に立つ仕事をするについて、自分との関わりで多面的・多角的に考えることができている。このような子どもたちが、進んでみんなのために働くことについて自分との関わりで多面的・多角的に考えられるように、学習課題について話し合う中で、おしゃべりを止めて掃除をする役割演技を行い、感想やその理由を話し合う時間を設定する。
- ③ 進んでみんなの役に立つ仕事をしようとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、進んでみんなのために働こうとする意欲と態度を養えるように、これまでの自分の生活のよさや課題、これからの生活への思いと、その理由を記述する学習プリントを用意する。

Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

Ⅳ 本時の学習

- 1 ねらい 図工室の掃除をして主人公たちが楽しそうにしている理由を話し合うことを通して、進んでみんなのために働こうとする心情を養う。
- 2 準備 アンケート結果 場面絵 役割演技で用いる道具 学習プリント
- 3 本時に想定した躍動をする子どもの姿

学習課題「図工室を掃除して、みんなが『とっても楽しそう』なのはなぜか」の解決に向けて、自らの価値観や生活経験、友達や教師の発言を根拠に、働くことよさや大変さについての考えを繰り返し発言している。

4 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
-------------	---------

1 教材から学習課題をつかむ。

- ・掃除がしっかりできているよ。「楽しい」という人とそうでない人がいるのは、掃除が面倒だからかな。
- ・みんなはおしゃべりをしていただけ、止めて掃除を始めたよ。図工室がきれいになって楽しそうにしているよ。
- ・楽しかったおしゃべりを止めて掃除をしたのに、掃除の後みんなが楽しそうなのは、掃除が楽しい理由があるのではないかな。

学習課題 「図工室の掃除をして、みんなが『とっても楽しそう』なのはなぜか。」

2 学習課題の解決に向けて話し合う。

- ・自分は、図工室がきれいになってよい気持ちになったよ。友達は「次に使うのが楽しみ」と言っているな。
- ・教室がきれいになると気持ちがよいと感じるからだよ。友達の「次に使う時、汚れていたら嫌だけど、きれいだったらうれしくなるから。」という考えも賛成だな。
- ・確かにみんなが「はい、どうぞ」って言ったのは、きれいな図工室を次に使う人にとってほしいと思ったからだよ。次に使う人が喜ぶと自分も嬉しいと思うな。
- ・そのままおしゃべりをするのは楽しいかもしれないけれど、自分たちだけしないのは北村さんがかわいそうだし、図工室もきれいにならなくて自分も他の人も楽しい気持ちにならないから、よくないと思うよ。
- ・今日話し合っ、おしゃべりが楽しくても、掃除をするとみんなが使う場所がきれいになって、自分も気持ちよし、次に使う人たちも喜んでくれるから、楽しい気持ちになるのだと思うよ。

3 自分の生活を振り返り、これからの自分の生活への思いについて考える。

- ・さぼってしまうこともあったけれど、みんなのために働くといいね。自分も次に使うみんなも気持ちよく過ごせるように、みんなのために進んで何かしたいな。

○本時のねらいとする道徳的価値への方向付けができるように、掃除の取組状況に関わるアンケート結果を提示する。

○教材の内容を把握できるように、範読した後に場面絵を提示しながら、登場人物の行為と様子を整理して板書する。

○進んでみんなのために働くことについての問題意識をもてるように、おしゃべりを止めて掃除をして、楽しそうにしている主人公たちについての感想や疑問を問いかける。

○進んでみんなのために働くことのよさについて体験を通して考えられるように、おしゃべりを止めて図工室を掃除する場面の役割演技をするよう促す。

○進んでみんなのために働くことのよさを明確にできるように、役割演技の理由を問いかける。

○図工室を使う他の人の気持ちに気付けるように、主人公たちが「はい、どうぞ」と言っている理由に着目するよう促す。

2自分勝手な思いを優先してしまう気持ちに気付けるように、掃除をせずにおしゃべり続けることの是非を問いかける。

○進んでみんなのために働くことのよさについて理解したことを自覚できるように、学習課題についての考えを学習プリントに記述し、発表し合うよう促す。

評価の視点

進んでみんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>

○よりよい自己の生き方を実現しようとする思いを明確にできるように、「今までの自分のこと・これからの自分のこと」の視点を提示し、学習プリントに記述するよう促す。

○これからの生活への意欲をもてるように、生活の見通しを具体的にもてたことを称賛する。

指導計画（全1時間）

ね ら い	<p>図工室の掃除をして主人公たちが楽しそうにしている理由を話し合うことを通して、進んでみんなのために働こうとする心情を養う。</p>	
教材	<p>きれいになったずこうしつ</p>	
主題 構成	<p>導入では、おしゃべりを止めて図工室の掃除を始めたにもかかわらず、掃除を終えて主人公たちが楽しそうにしていることに着目することで、進んでみんなのために働くことよさについての問題意識をもてるようにする。展開では、図工室の掃除をして、主人公たち「なんだかとっても楽しそう」にしていたり、「きれいな教室。はい、どうぞ。」と書いていたりしている理由を役割演技を通して考えることで、進んでみんなのために働くことで、自分だけでなく次に使う人が気持ちよく使うことができ、そのことが自分の喜びになることに気付けるようにする。</p>	
過程	<p>学習活動</p>	<p>評価の視点<評価方法></p>
導入	<p>○教材を読み，学習課題「図工室がきれいになって，みんなが『とっても楽しそう』なのはなぜか」をつかむ。</p>	
展開	<p>○学習課題の解決に向けて話し合う。</p>	<p>◇進んでみんなのために働くことについて，多面的・多角的に考えたことや，自分との関わりで考えたことを，発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント></p>
終末	<p>○これからの自分の生活への思いや課題について考える。</p>	
他の 教育 活動 との 関連	<p>・日常生活の中で，みんなのために働く場面 例：給食や掃除などの当番活動をする場面 教室や廊下に落ちているゴミを拾ったり，汚れたところを拭いたりする場面 机を整えたり授業で使った道具を片付けたりする場面 学級文庫や鍵盤ハーモニカの棚を整理整頓する場面 トイレのサンダルをそろえる場面 等</p>	